

2012年1月～2022年3月に当院にて

胃がんの化学療法を受けた方へ

研究:「切除不能・進行胃癌による尿管閉塞に対する尿管ステント留置の適応についての検討」
の実施について

1. 研究の対象

2012年1月～2022年3月に当院にて胃がんの化学療法を受けた方

2. 研究目的・方法

胃がん化学療法中の尿路閉塞に対する尿管ステントの有効性と安全性について検討を行い、尿管ステント留置の適切な時期と条件について考察する事を目的とします。当院において胃がんの化学療法を受けられた患者さんの治療実施内容と診療情報を集積し、治療結果や有害事象について解析します。診療情報は診療録および胃がん患者治療データベースより収集します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:カルテ番号、生年月日、身長、体重、血液検査結果、病理学的所見、放射線学的所見、病歴、治療介入の内容、抗がん剤治療の治療歴、治療開始日、副作用等の発生状況、尿管ステント留置の有無、予後、最終生存確認日等。本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院実施承認後～2024年12月末、予定症例数は約300例の見通しです。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。

6. 個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究機関】国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科

【研究責任者】坂口智紘

【連絡先】〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160

国立病院機構 四国がんセンター 消化器内科 坂口智紘

TEL: 089-999-1111 (代表)

FAX: 089-999-1128

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい

.....以上